

## メッセージ

「原水爆禁止2019年世界大会」の開催に際して、核兵器廃絶と平和な社会の実現を目指して活動されている皆様方の平和を愛する心と熱意に、深く敬意を表します。

核兵器は、その破壊力、殺傷力、後遺症だけでなく、被爆者の次世代の人々にも影響を与える恐ろしい兵器です。しかしながら核兵器や武力を用いて、紛争を解決しようとする国は未だ存在し、我が国では戦後70年が経過し戦争を体験された方や、被爆者の高齢化にともない戦争や被爆の経験の継承が難しくなってきております。核兵器の恐ろしさと平和の大切さを市民一人ひとりが再認識し、人類共通の願いである核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を強く訴えていくことが必要であります。広島と長崎の両被爆地で「原水爆禁止2019年世界大会」を開催されますことは、大変有意義なことと存じます。

本市におきましても、昭和60年に世界平和の実現と豊かで明るい住みよい社会の建設を決意して「平和都市宣言」を行い、さらに2010年には「平和首長会義」に加盟するとともに、平和な社会の実現をめざして「柏原市平和展」などの施策を展開し、戦争の悲惨さ、平和の尊さを多くの方々に訴えております。

本日参加されている全ての皆様とともに、世界の恒久の平和を願いまして、この「原水爆禁止2019年世界大会」が成功裡に終わられますことを祈念して寄せる言葉といたします。

2019年8月5日

柏原市長 富宅 正浩